

令和6年度第1回 足立区経済活性化会議

令和6年8月5日（月）午後2時30分
足立区役所本庁舎1201会議室

次 第

1 委員の委嘱

2 会長あいさつ

3 報告・意見交換

案件

地域経済活性化基本計画の
事業実施状況

地域経済活性化基本計画の 事業実施状況

1 目的

現計画の柱 1～6 における事業の実施状況



地域経済・産業の課題について意見交換

2 柱 1～6 の事業実施状況

資料1

事業実績及び令和 6 年度方針

- 柱 1 販路拡大支援事業
- 柱 2 小規模事業者等経営改善補助金
緊急経営資金（特別借換）
- 柱 3 区内中小企業人材採用支援助成金
中小企業人材育成・資格取得研修費補助金
- 柱 4 起業・創業支援
- 柱 5 消費喚起策
- 柱 6 5大イベント

補助資料

現計画の活動指標進捗

資料 1 事業実績及び令和 6 年度方針

柱 1	販路拡大支援事業	1
-----	----------	---

柱 2	小規模事業者等経営改善補助金	3
-----	----------------	---

	緊急経営資金（特別借換）	5
--	--------------	---

柱 3	区内中小企業人材採用支援助成金	6
-----	-----------------	---

	中小企業人材育成・資格取得研修費補助金	7
--	---------------------	---

柱 4	起業・創業支援	8
-----	---------	---

柱 5	消費喚起策	9
-----	-------	---

柱 6	5 大イベント	11
-----	---------	----

事業名	販路拡大支援事業			
事業目的	意欲的な事業者に対して、伴走支援や取引先との接点を提供し、販路拡大・売上向上を支援する。			
事業実施 状況	1 海外販路拡大支援事業			
	(1) 令和5年度までの事業実績			
	令和3年度から実施してきた当事業の実績は、委託事業者からの報告により、以下のとおりとなっている。			
	委託事業費計 (令和3～5年度)	支援した 事業者数	事業内の海外販路成約 (見込含む)	事業内の海外売上概算 (見込含む)
	67,503 千円	延べ 44 社	82 件	11,700 千円 (目標 4,360 千円)
	(2) 参加事業者からの評価			
	ア 事業に参加して得た効果に対する評価			
	参加事業者へのアンケートの上位回答内容		回答者数	
	海外展開のためのノウハウが得られた		9 社	
	海外販路を広げるためのネットワークが得られた		8 社	
ローカライズ対応などにより技術や商品開発に繋がった		7 社		
国内市場の売上や注文につながった		7 社		
イ 海外販路開拓状況の評価と課題				
1 1社が「思ったより販路につながっていない」と回答しており、原因として以下の主旨の回答があった。				
① コロナ禍において活動が制限された。				
② 参加事業者の体制などにより十分に力を入れられない場合があった。				
③ 2、3年という短期間、1、2回の出展では販路拡大は難しい。				
④ 参加事業者数が増え、個社へのきめ細かな支援が不足した面があった。				
(3) これまでの課題と令和6年度の方針				
「思ったより販路につながっていない」との回答が多く、継続した出展等が必要との声があることから、以下の課題に対応し支援を行う。				
課題		対応方針		
参加事業者の社内体制等の事情により力の入れ具合に差がある		支援対象を参加意欲や運営体制が持続できる10社程度に絞る		
参加事業者が増えるなどし、個社へのきめ細かな支援が不足した		事業者数を絞り、出展準備支援や振り返りをより丁寧に行う		
展示会出展から商談を行うスキームのみでは展開地域が限定される		新たに「国内商社等との商談」をメニューに加え、中華圏以外にもターゲット市場を一部広げる		

2 国内販路拡大支援事業

(1) 令和5年度の事業実績

令和5年度事業の実績は、以下のとおりとなっている。

委託事業費	支援した事業者数	合計売上概算
17,600 千円	10 社	17,200 千円 (目標 4,070 千円)

※1 「合計売上概算」の内訳

事業で実施した 商談の見込成約件数	事業で実施した 商談の見込売上概算	事業の効果として 発生した関連売上概算
12 件 (50 件中)	1,700 千円	15,500 千円

(2) 参加事業者からの評価

ア パッケージや販促物のブラッシュアップ支援は非常に評価が高く、商談や販売で効果があった、と複数の回答があった。

イ 消費者ニーズを把握するためのテストマーケティングを商品展示施設で行ったため、消費者から直接ニーズを把握できなかった。

(3) これまでの課題と令和6年度の方針

より一層の販路拡大を目指すため、以下の課題に対応し実施する。

課題	対応方針
<u>参加事業者の商品は高価格で高原価率</u> のため、卸取引では特に価格に見合った 価値をわかりやすくアピールすること が必要である	参加事業者から効果が高いと評価され た、商材の強みを引き出すブラッシュ アップ支援などによって、高価格相応 の価値を引き出していく
事業後半の商談に向けた準備を促進す るため、 <u>自社の課題を早期に認識して</u> <u>もらう必要</u> がある	事業初期に、商談代行を実施してバイ ヤーのフィードバックを受けるように する
<u>消費者ニーズの把握方法に課題</u> がある	参加事業者が直接消費者ニーズを把握 するテストマーケティングの実施場所 及び方法を検討する

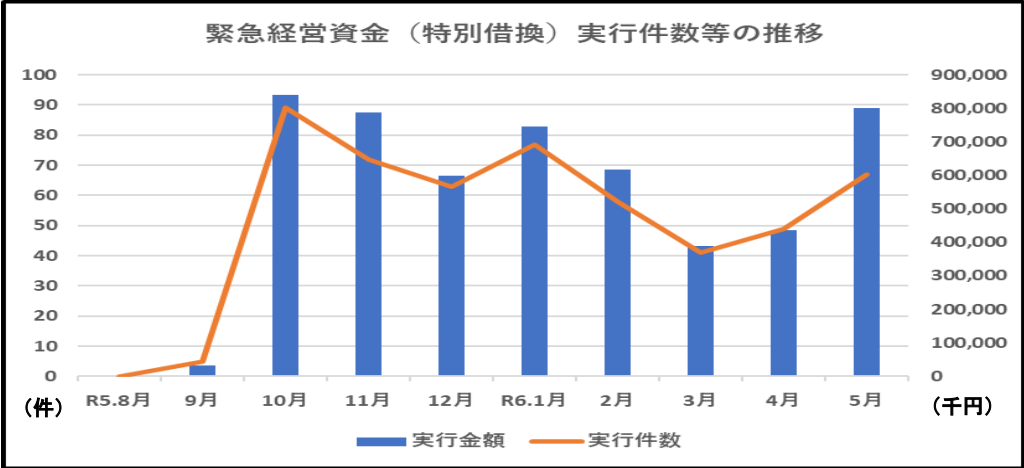
(1) 上記方針にもとづき、販路拡大に向け支援を実施していく。

事業名	令和6年度予算額（令和5年度との差）
海外販路拡大支援事業	21,800 千円 (-7,768 千円)
国内販路拡大支援事業	18,500 千円 (増減なし)

(2) 海外販路拡大支援事業については、海外展示会の現場を職員が視察し、令和7年度以降の事業のあり方を検討していく。

事業名	小規模事業者等経営改善補助金													
事業目的	経営改善計画作成を通して、区内小規模事業者の資材・燃料高騰に対応する経営力を強化する。													
事業実施状況	1 令和4年度～令和5年度の交付決定等実績													
	交付決定件数 56件 令和4年度 379件 令和5年度 交付決定額 26,253千円 令和4年度 477,159千円 令和5年度 1件当たり 交付決定額 約1,259千円													
	(1) 長期化する資材価格等高騰に対応するため、補助を拡充した。													
	<table><tr><td>拡充内容</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>補助上限</td><td>60万円</td><td>200万円</td></tr><tr><td>補助率</td><td>1/2</td><td>2/3</td></tr><tr><td>補助要件</td><td>区内継続3年以上事業を営む</td><td>区内継続1年以上事業を営む</td></tr></table>		拡充内容	令和4年度	令和5年度	補助上限	60万円	200万円	補助率	1/2	2/3	補助要件	区内継続3年以上事業を営む	区内継続1年以上事業を営む
	拡充内容	令和4年度	令和5年度											
補助上限	60万円	200万円												
補助率	1/2	2/3												
補助要件	区内継続3年以上事業を営む	区内継続1年以上事業を営む												
(2) 令和5年8月、補助金活用を促進するため、区内約4,700社へDMを送付し周知を強化した結果、申請件数、交付決定額とも大幅に上昇した。														
2 補助金交付事業者の状況														
経営改善計画作成をとおして経営を見直し、収益を得るために必要となる設備投資や店舗改修等の改善経費を補助する本補助金では、補助金交付の翌年度末ころに実績報告の提出により状況を確認している。														
(1) 主な補助例														
加工用機械、店舗改修（壁・床・照明など）、生産管理ソフト及び管理専用タブレット、設備維持費（保守、点検料）など経営改善につながるもの														
(2) 令和4年度交付事業者の補助金申請時の決算と直近決算の比較														
増収増益 58% 【30社】 増収減益 21% 【11社】 減収減益 17% 【9社】 減収増益 4% 【2社】 1 増収増益について【58%（30社）】 (1) 要因等（事業者コメント） ア 購入した機材による生産効率や生産量の向上 イ 店舗改修による新規顧客の増加 ウ 経営改善相談による事業改善 2 減収減益について【17%（9社）】 (1) 要因等（事業者コメント） ア 原材料価格高騰による値上げに伴う販売減、宣伝広告不足 イ 取引先の受注減、競合店との競争激化 ウ 原材料価格・人件費の高騰														
※ 補助金交付56社のうち、実績報告のあった52社の集計														

	3 令和6年度について (1) 補助上限額 200万円 (2) 補助率 2/3 ※(1)(2)は令和5年度に拡充した内容で継続実施 (3) 対象事業者規模【拡充】 製造業、建設業、運輸業、その他の場合は30人以下、商業又はサービス業の場合は10人以下の事業者（中小企業基本法第2条第5項に定める20人以下、5人以下から拡充） (4) 計画書作成相談受付期間 令和6年6月1日～11月29日（事前相談必須） (5) 申請期間 令和6年6月3日～令和7年2月14日 (6) 当初予算額 405,000千円 (7) 6月30日時点の申請状況 122件（令和5年度同時期 81件） (8) 周知 区内約6,800社にDMを送付
今後の方針等	経営改善計画作成の支援から申請まで遅滞なく補助交付できるよう、産業経済部内で協力体制を構築し、連携して運営していく。

事業名	緊急経営資金（特別借換）			
事業目的	物価高騰等で区の緊急経営資金の返済に苦慮している区内事業者のため、新たな借換え制度を令和5年8月1日から実施			
事業実施状況	1 緊急経営資金（特別借換）の主な特長 (1) 信用保証料の全額補助 (2) 最大12か月の据置期間の設定が可能 (3) 借換え元の融資の返済が開始されていなくても借換への対象とする。 (4) 金融機関が事業者の強み弱みを分析する「SWOT分析・事業性評価シート」を作成し、事業者への伴走支援の促進をさせている。			
	2 令和5年度8月からの受付件数及び実行件数			
	月	申請件数	実行件数	実行金額
	R5.8月	101件	0件	0千円
	9月	85件	5件	32,000千円
	10月	75件	89件	838,630千円
	11月	61件	72件	786,350千円
	12月	80件	63件	599,790千円
	R6.1月	43件	77件	746,700千円
	2月	50件	58件	615,950千円
	3月	75件	41件	390,106千円
	5年度計	570件	405件	4,009,526千円
	4月	25件	49件	437,300千円
	5月	42件	67件	800,763千円
	合計	637件	521件	5,247,589千円
				
	3 令和6年度予算 (5年度3号補正) (6年度当初予算) (1) 予算額 : 97,800千円→442,400千円(拡充) (2) 信用保証料補助件数 : 280件 → 1,100件 (3) 利子補給件数 : 170件 → 2,070件			
今後の方針等	令和5年8月1日から実施した緊急経営資金（特別借換）の令和5年度申請数は、570件と緊急経営資金申請の約4分の1を占めている。特別借換を利用し資金繰りが円滑になったことで、「利益率改善」「黒字転換」「人員増」に繋がった企業もあり、令和6年度も継続実施した。今後も区内経済状況を注視しつつ、引き続き区内事業者に対し、きめ細かく丁寧な支援を行っていく。			

事業名	区内中小企業人材採用支援助成金（新規事業）			
事業目的	区内中小企業や個人事業主が行う人材採用事業に対して、求人広告費や人材紹介業者への成功報酬等の一部を助成することにより、企業の経営基盤の向上を図り、もって区内産業の振興に寄与することを目的とする。			
事業実施状況	1 助成金概要			
	対象経費	① 求人サイトや有料求人情報誌等への掲載費用 ② 人材紹介会社を介し、雇用に至った際に発生する経費（成功報酬）		
	当初予算額	40,000 千円（400 千円×100 件）		
	助成率	1 / 2		
	助成上限額	4 0 0 千円（年度 1 回まで）		
	申請期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 1 月 3 1 日		
	2 申請状況（令和 6 年 6 月 2 8 日時点）			
		申請（交付）件数	採用実績	交付決定額
	求人情報掲載費用	104 件（※1）	0 件（※2）	34,989 千円 （平均 289 千円）
	人材採用成功報酬	17 件（※3）	8 件（※4）	
※1 事業者が求人情報掲載開始の 14 日前に区へ助成金を申請した件数。 104 件中 1 件は、求人情報掲載と人材採用（成功報酬）の併用含む。				
※2 求人情報掲載終了後、事業者が実績報告書を提出し、内容審査を経て区から事業者に助成金を振り込んだ件数のうち、人材を採用できた件数（6/28 時点での実績報告書提出は 1 件）。				
※3 人材紹介業者による人材紹介を利用した企業が、内定後から入社前の期間内に区へ助成金申請を行った件数。				
※4 人材紹介による人材の入社後に、事業者が区へ実績報告書を提出し、内容審査を経て区から事業者に助成金を振り込んだ件数のうち、人材を採用できた件数。				
3 予算の増額				
想定以上の申請があり、引き続き区内中小企業等の人材確保を支援するため、以下のとおり予算を増額計上した。				
(1) 当初予算額 40,000 千円 400 千円×100 件				
(2) 年間見込額 121,600 千円 304 千円（※）×400 件				
※ 4/1～5/15 の申請金額の平均値				
(3) 補正予算額 81,600 千円				
今後の方針等	予算を適正に執行管理しながら、広く区内中小企業等に対し、助成金の交付を行っていく。また、本助成金の交付による区内中小企業への波及効果をしっかりと分析し、次年度の予算編成に活かしていくとともに、区内中小企業等の人材確保を支援していく。			

事業名	中小企業人材育成・資格取得研修費補助金			
事業目的	区内の企業および産業団体が従業員等のために行う人材育成・資格取得研修事業に対して、研修費用の一部を補助することにより、従業員等の職業技術および企業経営の向上を図り、もって区内産業の振興に寄与することを目的とする。			
事業実施状況	1 補助金概要（令和5年度・令和6年度変更なし）			
	対象経費	① 企業が負担する、従業員等の職務に密接に関連する人材育成や資格取得につながる高度な技術・技能・知識および経営等を学ぶことができる研修費用 ② 産業団体が自ら催す研修等に係る経費または外部研修等の参加費		
	補助率	1／2		
	補助上限額	50千円（企業は年度5回まで、産業団体は年度4回まで）		
	2 令和5年度の申請状況（「産業技術・経営研修会助成事業補助金」として実施） （1）申請件数 203件（125社）※ 申請件数は却下および取消分を除く （2）交付決定額 4,521千円			
	3 令和6年度について （1）資格取得にかかる研修費用も補助対象経費であることがわかりづらいため、補助金の名称を変更し、認知度の向上を図った。			
	年度	補助金名称	主な申請内容 ※令和6年7月17日時点	
	令和5年度	産業技術・経営研修会助成事業補助金	アスベスト関連 47.3%、玉掛・クレーン・フォークリフト等 13.3%、経営層育成関連 3.9%	
	令和6年度	中小企業人材育成・資格取得研修費補助金	玉掛・クレーン・フォークリフト等 25.4%、アスベスト関連 23.8%、経営層育成関連 11.9%	
	（2）予算の増額 想定以上の申請があり、引き続き区内中小企業等の職業技術および企業経営の向上を支援するため、以下のとおり予算を増額計上した。 ア 申請状況（令和6年6月28日時点）			
	令和5年度		令和6年度	対前年度増減比
	総数	6/30時点		
申請件数	203件	76件	117件	＋154%
交付決定額	4,521千円	1,669千円	2,547千円	＋153%
※ 申請件数は却下および取消分を除く イ 当初予算額 4,100千円 25千円×164件 ウ 年間見込額 9,798千円 23千円（※）×426件 ※ 4/1～5/15の申請金額の平均値 エ 補正予算額 5,698千円				
今後の方針等	予算を適正に執行管理しながら、広く区内中小企業等に対し、補助金の交付を行っていく。また、本補助金の交付による区内中小企業への波及効果をしっかりと分析し、次年度の予算編成に活かしていくとともに、区内中小企業等の職業技術および企業経営の向上を支援していく。			

事業名	起業・創業支援												
事業目的	創業ステージを意識した創業支援施策を構築し区内事業者への継続的かつ手厚い支援を行うことで成長を促し、創業満足度を高め、区内での起業と定着を促進する。												
事業実施状況	起業準備期 【課題】 起業を身近に感じる人が少なく、意向を持つ人が少ない → 起業家マインドを醸成し起業の芽を確実に育てる												
	【成果指標】 足立区で創業した法人数 令和7年度目標値 1,028 社												
	【事業例】 起業家支援塾 未創業及び創業3年未満の事業者を対象に、経営者としての基盤確立と創業者のネットワークづくりを目的としたセミナーを実施している。 (1) 令和5年度実績 <table><tr><td></td><td>入門編受講者（定員）</td><td>実践編受講者（定員）</td></tr><tr><td>第1回</td><td>26（25）</td><td>21（25）</td></tr><tr><td>第2回</td><td>31（25）</td><td>27（25）</td></tr></table> (2) 当事業をきっかけにできた「足立区起業家の会」で新たな交流やビジネスチャンスが創出されるなど受講者の評価も高く、引き続き起業準備や経営の基盤確立を支援する。			入門編受講者（定員）	実践編受講者（定員）	第1回	26（25）	21（25）	第2回	31（25）	27（25）		
		入門編受講者（定員）	実践編受講者（定員）										
	第1回	26（25）	21（25）										
	第2回	31（25）	27（25）										
スタートアップ期 【課題】 資金面が不安定、経営に関する様々な知識・ノウハウ不足 → 創業後の不安定な時期を中心に伴走支援を行う													
【成果指標】 創業支援事業の支援終了時に事業として成立している事業者の割合 令和7年度目標値 100%													
【事業例】 創業プランコンテスト 優秀なアイデアをもつ起業家から事業計画を募集・審査し、優秀な事業計画を表彰、補助金交付や事業PRにより支援する。 (1) 令和4年度・令和5年度最優秀賞受賞者 <table><tr><td></td><td>令和4年度最優秀賞</td><td>令和5年度最優秀賞</td></tr><tr><td>事業者名</td><td>株式会社薬 zaiko</td><td>株式会社SUN-KAKU</td></tr><tr><td>助成事業</td><td>アレルギー患者を自立させる オンライン薬局</td><td>中小企業向け脱炭素化 支援事業</td></tr><tr><td>現在の状況</td><td>地域密着型のオンライン薬局とアレルギー患者向けのオウンドメディアの2事業に取り組んでおり、2店舗目も出店</td><td>「CO2 可視化サービス」提供をWEB上で開始。他社との協業を増やし、中小企業へのアプローチを積極的に進めている。</td></tr></table> (2) 令和6年度のコンテスト応募は13件（令和4、5年度は9件）。受賞者には、担当相談員が6ヶ月間事業化を丁寧にサポートする。			令和4年度最優秀賞	令和5年度最優秀賞	事業者名	株式会社薬 zaiko	株式会社SUN-KAKU	助成事業	アレルギー患者を自立させる オンライン薬局	中小企業向け脱炭素化 支援事業	現在の状況	地域密着型のオンライン薬局とアレルギー患者向けのオウンドメディアの2事業に取り組んでおり、2店舗目も出店	「CO2 可視化サービス」提供をWEB上で開始。他社との協業を増やし、中小企業へのアプローチを積極的に進めている。
	令和4年度最優秀賞	令和5年度最優秀賞											
事業者名	株式会社薬 zaiko	株式会社SUN-KAKU											
助成事業	アレルギー患者を自立させる オンライン薬局	中小企業向け脱炭素化 支援事業											
現在の状況	地域密着型のオンライン薬局とアレルギー患者向けのオウンドメディアの2事業に取り組んでおり、2店舗目も出店	「CO2 可視化サービス」提供をWEB上で開始。他社との協業を増やし、中小企業へのアプローチを積極的に進めている。											
事業拡大期 【課題】 経営者として新たな課題に対応することが求められる → 事業拡大を継続的に支援していく													
【成果指標】 創業5年後の満足度 令和7年度目標値 85%													
【事業例】 ステップアッププログラム 創業後の課題解決に向けて、先輩起業家がチューターとなってアドバイス等を行い、事業の成長・発展を後押しする。 (1) 令和5年度の参加者8人（定員8人） (2) 参加者には、他の支援事業の活用につけていくとともに、事業拡大期における課題解決に向けて、新たな支援策を検討していく。													
今後の方針等	起業家同士の連携強化と相談員による丁寧な支援を行いながら創業の成功事例と区内定着企業を増やすことで、起業を志す人に選ばれる区にする。												

事業名	消費喚起策				
事業目的	長引く物価高騰の影響を受けている中小個店や消費者の支援のため、令和6年度に3つの消費喚起を実施。				
事業実施状況	1 第3回レシート de 商品券事業（キャンペーン終了）				
	(1) キャンペーン内容				
	ア ㊞スタンプが押された900円以上（税込）の2店舗以上のレシート9枚で、区内共通商品券2,000円分をプレゼント				
	イ レシート9枚のうち、「あだちの輝くお店セレクション」選出店のレシートが含まれている場合は、区内共通商品券2,500円分をプレゼント				
	ウ 本事業登録店には、協力金として10,000円を支給				
	(2) 事業概要（令和5年度と令和6年度の比較）				
			令和5年度	令和6年度	
	登録店舗数	1,382店		1,627店 （目標1,500店） ※ 登録店舗数が少ない地域への電話かけ・訪問（特に小台、宮城、日暮里・舎人ライナー以西の地域を重点的に勧奨）するなど、登録店舗増の取り組みを行った	
	キャンペーン期間	令和5年3月22日 ～5月21日		令和6年3月25日 ～5月24日	
	申請件数	56,387件		81,481件（※速報値） （想定100,000件）	
	経済効果	5.86億円		10.4億円（開始前の推定値）	
	経済波及効果	8.52億円		15.1億円（開始前の推定値）	
	2 足立区商店街応援券（商連プレミアム商品券）				
	足立区商店街振興組合連合会がプレミアム付きの商品券を発行。				
	(1) 事業概要（令和5年度と令和6年度の比較）				
	令和6年度は店舗と消費者のデジタル決済の促進を目的に、デジタル券のプレミアム率と発行セット数を増加して実施。				
		令和5年度（参考）		令和6年度	
		紙	デジタル	紙	デジタル
応募期間	7/1～7/21		7/1～8/20	7/1～7/22	
使用期間	9/1～12/31			9/2～12/31	
プレミアム率	20%			20%	25%
発行セット数	2万セット	1.5万セット		1万セット	2万セット
発行額（プレミアム分含む）	2.4億円	1.8億円		1.2億円	2.5億円
プレミアム分	4,000万円	3,000万円		2,000万円	5,000万円

3 キャッシュレス決済還元事業

(1) 事業概要 (令和5年度と令和6年度の比較)

	令和5年度		令和6年度	
対象決済アプリ	PayPay		auPAY、d払い、PayPay、楽天ペイ	
還元率	20%	30%	10%	20%
対象店舗	資本金5,001万円以上の法人が運営する店舗は除く(※1)			
	(※1)の中で従業員数1,000人以上の事業者の全店	(※1)の中で従業員数1,000人未満の事業者の全店	(※1)の中で従業員数1,000人以上の事業者の全店	(※1)の中で従業員数1,000人未満の事業者の全店
還元上限/回	2,000円		アプリごとに2,000円	
還元上限/期間	10,000円		アプリごとに5,000円	
期間	12/1～12/25 (25日間)		11/15～12/25 (41日間) ※ 期間を前倒して実施	
還元額	実績：12.39億円 予算：19.17億円		13.0億円 【参考：R5実績を元に予算額の3分の2をかけた還元額】 8.67億円	
事務費	実績：0.5億円 予算：0.78億円		1.47億円	
経済効果 (決済額)	76億円		65～130億円(推定)	
経済波及効果 (総務省計算 ツール活用)	114.8億円		98.2～196.3億円 (推定)	
メリット			① 各決済事業者と連携して一括管理が可能 ② PayPay1社と特随契約できなくなる ③ PayPayが行わないサービス(店舗一覧のHP公開)ができる	
デメリット			① 事務費が高くなる ② キャンペーンのHP、チラシ・ポスター等を一から作りこむ必要がある	

今後の 方針等

- (1) 3つの消費喚起策において、足立区商店街振興組合連合会や受託事業者と連携し、円滑に展開していく。
- (2) 物価高騰対策やキャッシュレス決済促進にかかる事業に活用可能な補助金の動向を注視していく。

事業名	5大イベント				
事業目的	区民や来訪者が楽しめるイベント事業を通じて、区の魅力を発信し、賑わいのあるまちの創出と区内消費の拡大を図り、区内経済の活性化に寄与する。				
事業実施状況	1 5大イベントの概要 【令和6年度事業計画】				
	イベント名	開催日	内容	予算額 (千円)	来場者数 (前回来場者)
	しょうぶまつり&世界の食広場【実施済】 (しょうぶ沼公園～都立東綾瀬公園)	6月1日、2日(土日)	物産展、即売会、ハナショウブ説明会、模擬店、食の広場、PR展他	17,849	91,000人 (73,000)
	足立の花火 (千住新橋～西新井橋間) 【荒天による中止を 当日18:55に発表】	7月20日(土)	13,000発打上げ、ナイアガラ、レーザー	274,941	18:55時点 400,000人 (740,000)
	あだち区民まつり A-F e s t a 2 0 2 4 (虹の広場)	10月12日、13日(土日)	ステージショー、物産展、模擬店、PR展、子ども広場他	57,768	370,000人 (※370,000)
	光の祭典 (竹ノ塚駅前広場～元渕江公園)	11月30日～12月25日	点灯式、物産展、ほっとカフェテリア	68,967	253,500人 (※252,000)
	舎人公園千本桜まつり (都立舎人公園)	3月29日、30日(土日)	物産展、模擬店、PR展他	54,396	199,000人 (269,500)
	※ しょうぶまつり、足立の花火の来場者数は令和6年度実績。 ※ あだち区民まつり以降の来場者数は前回実施の実績。 (※) 内はコロナ前、令和元年度の数字(区民まつりは平成30年度)				
今後の方針等	(1) 区民及び来街者が安心して楽しめるよう、来場者の安全を最優先に考えた警備体制や会場レイアウト等に基づいてイベントを実施するとともに、SDGsの視点を取り入れ、イベントを通じた普及啓発を行う。 (2) 5大イベント内において、千住宿開宿400年(令和7年度)についてもアピールをしていく。				